

市は4月1日、熊本市出身の中村知香さんを新たに地域おこし協力隊に任命しました。安曇野の伝統的な地域資源「天蚕」のブランディング・生産振興に取り組みます。



## INTERVIEW

### Q1. 地域おこし協力隊になったきっかけは？

登山が好きでいつか長野県に住みたいと思いながら、熊本で言語聴覚士として働いたところ、安曇野市の協力隊募集を見つけ、このタイミングしかない！と思い応募しました。

### Q2. 4月から約1カ月取り組んでみた感想は？

安曇野と天蚕はほぼブランディングされていると感じています。地元の人にまず知ってもらい発信することから始めたいと思っています。多くの子どもたちに関わってもらえるのもいいかもしれませんね。

### Q3. 今後の活動への意気込みは？

安曇野での生活に早く慣れ、天蚕のために尽力している皆さんの力になれるように一緒に頑張り、盛り上げていきたいです。

## 国内最大規模の公募展 安曇野へ

4/22 「日展」安曇野展オープニング式典

国内最大規模の公募美術展「第8回日展安曇野展」(安曇野文化財団・日展主催)が豊科近代美術館で開かれ、日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の作品から厳選された311点が展示されました。日展は、明治40年から続く国内最大規模の公募展で、県内で巡回展が開かれるのは19年ぶりとなります。太田市長は開幕にあたり、「安曇野は多くの芸術家を輩出し、20を超える美術館等がある芸術の地。秀逸な作品と共に地域の風土を感じていただけたら」と述べました。期間中は、授業の一環として鑑賞に訪れた市内小中学生や、大型連休中を利用して訪れる観光客が多く来場。書道を学ぶ仲間と訪れた高原さん(岡谷市)は、「都会まで行かずに見られるのが良かった。素晴らしい作品ばかり」と話してくれました。



## 快挙！小学生駅伝で初優勝

4/30 長野県市町村対抗駅伝・小学生駅伝

県市町村対抗駅伝が松本平広域公園陸上競技場を会場に行われ、選考会で選ばれた安曇野市メンバーが積極的な走りをつなぎました。中学生を含む一般男女で9区間を走る市町村駅伝は44チーム中9位。小学生駅伝では53チームが出場する中、安曇野市は最終区間で逆転し、21分33秒という好タイムで初優勝を果たしました。

同日行われた報告会で、高木一裕主将は「市町村対抗駅伝では8位入賞に一步届きませんでした。中学生男子2人の区間賞獲得と小学生駅伝の優勝もあり、これからが非常に楽しみなチームです。この勢いを活かし、来年に向け練習に励みます」と意気込みを語りました。



## 安曇野が映画の舞台 拍手で参加

4/21 映画「どんねんないきもの事典」拍手音収録会

市が観光振興の一環としてロケ支援を行っているアニメ映画「どんねんないきもの事典」の作中に使われる拍手音の収録が穂高北小学校で行われました。映画は、南極・オーストラリア・日本(安曇野)が舞台。日本編では安曇野に生息するニホンノウサギを主人公とした物語が描かれます。

当日は、1年生3クラス約90人が収録に協力。クラスごと体育館で「ふつうの拍手」「早い拍手」「自由な拍手」の3パターンの収録を行い、思い思いの動物を拍手で表現しました。収録に参加した山本侑生くんは「ペンギンをイメージして拍手をした。早い拍手は難しかった。映画も見に行きたい」と話し、7月からの作品公開を心待ちにしていました。



## 50年の長旅からみんなの手へ

4/24 長峰山「歴史の塔」タイムカプセルお披露目会

市は、長峰山山頂に埋められたタイムカプセルのお披露目会を現地で開きました。

カプセルは、50年前の昭和46年に旧明科町が山頂に建てた「歴史の塔」の下に埋めたもので、中には、当時の明南小学校と明北小学校の6年生143人の絵と作文、町の資料、写真などが納められていました。

当日はカプセルを埋めた卒業生たちや旧役場職員、商工会会員ら約30人が集まり、思い出を片手に50年前へのタイムトラベルに浸りました。明北小学校出身の飯島初枝さんは、「毎回、長峰山に来るたびにタイムカプセルのことを考えていた。絵を見ながら懐かしい仲間と思い出話ができて嬉しい」と話しました。

## 表敬訪問

### 津軽三味線で小学生日本一

4月3日に東京都台東区浅草公会堂で開かれた第25回津軽三味線コンクール全国大会小学生の部で金賞を受賞した宮沢莉乃音さん(穂高南小6年)が市役所を訪問し、成果報告と演奏を披露しました。



4月26日市役所で表彰状を贈呈